

地域医療に関する調査 概要

○ 目的

東京の地域特性を踏まえた持続可能な地域医療の確保に向けた調査・分析を行い、今後の施策展開等に繋げる。

○ 調査事項

(1) 患者の受療動向（将来推計）

都内では、高齢者人口の増加が続く一方、従前から特に高齢者を中心に入院受療率が低下傾向

- ・都内病院調査により疾病構造の変化を定量的に把握
 - ・都民意識調査によりコロナ禍を経た都民の意識の変化を把握
-]} 受療率低下の要因分析や、入院患者及び
外来患者数の将来推計を実施

(2) 医療提供体制

今後の高齢者救急や在宅医療の需要増を見据え、病病連携・病診連携や医療介護連携における課題等について把握

(3) 病院の経営状況

昨今の物価高騰等の影響を踏まえ、都内病院の経営状況や医業費用の地域差の有無、黒字・赤字要因等の分析

○ 調査・分析方法

- ① **病院調査(全病院 約620か所)**：疾病構造の変化や、医療と介護等の連携の近年の変化や課題、病院の経営状況等について調査
- ② **都民調査**：受療に対する意識や行動の変化を把握するため、都民を対象としたインターネットによるモニター調査
- ③ **患者調査**：実際に医療の提供を受けている患者の受療に対する意識や行動の変化を把握するための調査
- ④ **有識者等ヒアリング**：関係団体、介護・在宅医療、医療経済学の専門家等に対しヒアリングを実施

○ 今後の予定

調査結果を踏まえ有識者等へのヒアリングを実施し、年度末に向けて最終報告を取りまとめる。